



広報

川越

市の入口

278,702人

男=140,740人

女=137,962人

—世帯数—

出生229 死亡110 84,666 転入2,685

前月比+1,357人 転出1,447

+854世帯

5月1日現在



6月3日からスタート

子育て電話相談

60年

No.623

ラブ 川越 思い出散歩

シリーズ④



すずめのお宿

本田 明子（上野田町47-8・35歳）

屋根瓦と
竹の緑が美しい



新富町通りに鏡山酒造がありましたが、その店の裏手にまわると、酒蔵の大きな黒い屋根と少しばかりのモウソウ竹が見えます。なんということはない風景ではあります。ですが、夕方になると様子は変わります。

川越にお住まいの方ならご存知の方も多いと思いますが、それはまるで町中のすずめたちが集まってきたというよりは、帰ってきたといった方がいいのでしょうか。

すずめの鳥もいるようですが、初めて見た時には何事かといつくりしたのです。近くには喜多院もありますし、寝ぐらはい

すすめの方ならご存知の中には、もずや他の鳥もいるようですが、初めて見た時には何事かといつくりしたのです。近くには喜多院もありますし、寝ぐらはい

くらでもあるように思えます。繩張りというのがあるのでしょうか。それがそもそもすずめたちにとって一番、寝ごこちのよいベットは竹やぶなのでしょうか。とにかく、すこい数の「すずめのお宿」になります。

川越の繁華街にあって、こうした光景を見ることはとても驚きであります。また、心温まる思いがするのです。だって、その小さな竹やぶは、まるですずめたちのために残してあるかのように見えるのです。だから、その小さな竹やぶのもの……。黒い屋根瓦と竹の緑が、幼い頃住んでいた京都の隅とおぼろに交差しつつ、人々の暖かい心とともに、とても美しいと

思います。



さわやかな汗いっぱい

身障者スポーツ大会

五月晴れのもと、第三十四回埼玉県身体障害者スポーツ大会が、五月十二日(日)、上尾運動公園陸上競技場で盛大に開催された。



健康と体力の維持・増強と友情の輪をさらに広げるために行われたこのスポーツ大会、市内からは百五十人の人たちが参加。日頃の成果をいかんなく発揮しようとして定着してきた「車いすスラローム」や「車いすスラローム」「百じん障害

走」などが行われたが、なかでも「車いす六十秒競走」の種目で、川越勢の活躍がめだった。

身障者の競技種目として定着してきた「車いすスラローム」、「百じん障害

走」などが行われたが、なかでも「車いす六十秒競走」の種目で、川越勢の活躍がめだった。

車いすスラロームから

それぞれ自己の記録に挑戦した。

身障者の競技種目として定着してきた「車いすスラローム」、「百じん障害

走」などが行われたが、なかでも「車いす六十秒競

みんなの作文

私は、月曜日に、山登りをしました。

わき水が、ちょうど、ちょうど、上の方から、ゆっくり流れで来るんです。

「ホーホケキヨ」と、



楽しかった 登山

大東東小4年
田口広美



姉妹都市 コーナー

着々進む「友好の森林」づくり 新たな交流の一ページ

昨年五月二十日、友好都市・福島県棚倉町と協定を結んだ

「友好の森林」づくりが、満一年を経過した今、ほぼ全体の三分の二まで完成しました。

この「友好の森林」は、山林の中に建設した憩いの場や、ス

ギやヒノキなどを植樹した、い

わゆる「分収林」を通じて、川

越、棚倉両市町民の交流を深め、

思いつきり森林浴を楽しみ、共に収穫を分かち合おうという壯

大な計画からなるものです。

すでに、木の感触を生かした昭和四十七年に友好都市としての盟約を交わして以来、剣道やゲートボールなどを通じて交流を重ねてきた両市町ですが、大人から子供まで、だれもが自然と親しみ、期待できそうです。

根のあずまや、丸太を使つたベンチなど、の建設もほぼ終了しているほか、シャクナゲ、アジサイ、ツツジなどの草花の植栽も順調に進んでおり、当初予定したとおり、今年度いっぱいには、全面的に完成する見込です。

木の植栽も順調に進んでおり、当

初予定したとおり、今年度いっぱ

いには、全面的に完成する見込で

す。

木の植栽も順調に進んでおり、当

初予定したとおり、今年度いっぱ

いには、全面的に完成する見込で